

テレビ会議システムを用いたシドニー大学向け 日本語授業の実践報告

Japanese Classes delivered to the University of Sydney using Videoconferencing

山田敏弘*・今井亜湖*・江馬 諭*・加藤直樹**・小林一貴*・
西澤康夫*・松原正也**・大和隆介*・H.クラーク***・岩下真実***

YAMADA Toshihiro, IMAI Ako, EMA Satoshi, KATO Naoki, KOBAYASHI Kazutaka,
NISHIZAWA Yasuo, MATSUBARA Masaya, YAMATO Ryusuke, Hugh CLARKE and IWASHITA Mami

1. はじめに

平成14年5月に岐阜県国際ネットワーク大学コンソーシアムとの産学官連携共同研究として発足した本研究も3年目となり、平成16年度より、同年3月2日に遠隔授業システムを用いて交わされた学部間交流協定に基づく本格的な授業交換がスタートした。

平成16年度の授業交換は、岐阜大学からシドニー大学文学部日本語研究科へ2時間の講義を送り、反対にシドニー大学から岐阜大学生涯教育講座へ3時間の授業を送ってもらうという形で行われた。本報告は、前者の岐阜大学から送信した授業に関する報告である。

技術的な問題等についての詳細は別稿を用意することとし、本報告では授業内容に関する部分についての報告を行う。

2. 授業送信に至るまでの経緯

2.1 内容の決定

平成15年度、シドニー大学の日本語の授業に埋め込むモジュール授業として、2つの日本語に関する授業が岐阜大学からシドニー大学へ提供された。シドニー大学での受講生の様子も十分にはわからないまま手探りでコンテンツ作成であった¹⁾。

平成16年1月、授業者を含めた本研究のメンバーの何人かがシドニー大学を訪問し、授業を受けるであろう日本・韓国研究講座のスタッフと、授業の位置づけ、内容の調整等について意見を交わした。そこでは、平成15年度同様のシドニー大学における日本語授業の受講者に対する日本語授業、および同講座スタッフおよび大学院生による研究会への遠隔システムを使った参加の2つの方法が模索され、同時に、話しことばのスピード、明瞭さに関して受け手側から授業者へのフィードバックも行われた。

これらをふまえて、平成16年度の授業内容を、平成15年度と同様の内容とし、今回はシドニー大学文学部での岩下講師による13回の授業(表1)における位置づけを明確にし、内容もそれに合わせて岐阜大学側の授業者山田が2回分の文法に関する講義を行うことになった。

岐阜大学から送信する今回の2回の授業に関しては、シドニー訪問時および授業前のメールによる打ち合わせにより、現地スタッフが行う授業との棲み分けをどのようにするかが課題となり、次の2点に配慮することになった。

- (1) ことばのゆれについて岐阜大学学生への調査も授業に取り入れ、日本語の現状を把握できる授業にすること。
- (2) 岐阜および周辺の方言的な事象への言及を含めて、岐阜大学から送信される授業ならではの講義にすること。

以上の2点に留意されて授業が組み立てられた。ちょうど、シドニー大学における講座が、単なる日本語の授業で

* 岐阜大学教育学部

** 岐阜大学総合情報メディアセンター

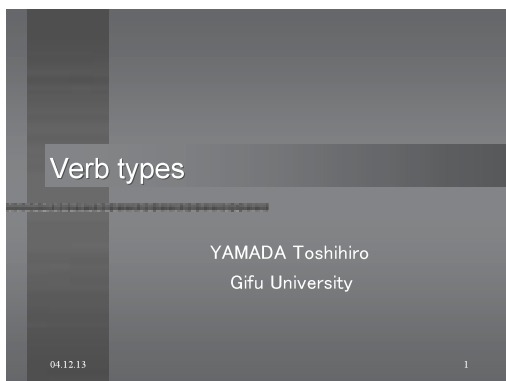
*** シドニー大学文学部 (Faculty of Arts, the University of Sydney)

表1 シドニー大学文学部「Readings in Japanese Linguistics」(Clarke・岩下担当)

Week	
1 26/7-30/7	Course introduction Introduction to Typology 1 (Wed's Lecture by Professor Clarke)
2 2/8-6/8	Introduction to Typology 2 Introduction to Phonology 1 (Thu's Lecture by Professor Clarke)
3 9/8-13/8	Introduction to Phonology 2 (Wed's Lecture by Professor Clarke)
4 16/8-20/8	Introduction to Verb Conjugation 1
5 23/8-27/8	Introduction to Verb Conjugation 2
6 30/8-3/9	Introduction to Verb Conjugation 3 Class Test
7 6/9-10/9	Introduction to Verb Types 1
8 13/9-17/9	Introduction to Verb Types 2
9 20/9-24/9	Introduction to Verb Types 3 Lecture from Gifu University 1 Short Research Assignment Due
Mid-semester Recess	
10 4/10-8/10	Introduction to Verb Types 4 Introduction to -te iru Form 1
11 11/10-15/10	Introduction to -te iru Form 2
12 18/10-22/10	Introduction to -te iru Form 3 Lecture from Gifu University 2
13 25/10-29/10	Introduction to -te iru Form 4

はなく、言語類型論 (Typology) をも視野に入れたものであり、方言という素材まで含めて日本語を複眼的に捉える必然性もあった。ただし、方言に関する解説には、十分な配慮によって理解がされるように保つ必要があったことは言うまでもない。

3. 第一回目「日本語の動詞活用」



えー、日本はまだ(笑い)いいですか? 日本は今、夏が終わりを迎えています。まだ少し暑いです。この夏は、たくさん私、あのーテニスをしました。毎日たくさんテニスをして、少し今、顔が黒くなりました。みなさん、分かりますか?(頭を指差しながら)これは頭です。(顔を指差しながら)こちらが顔です。分かりますか? 大丈夫です。はい。今日は、動詞のタイプについて少しお話をします。

えー、動詞のタイプについてお話をします。まず、最初に活用のタイプを見ていきます。Conjugation。活用ですね。活用のタイプについて、いくつみなさんは知っていますか?

まず、五段動詞ですね。これは、Type Verbs ということもあります。これには、「書く、出す、立つ、死ぬ、読む」などの動詞があります。それから、現代の日本語には、一段動詞というのがあります。これ Type Verbs というふうになんさんは勉強しますか？「見る、寝る、生きる、食べる、見ない、寝ない、生きない、食べない」というふうになる動詞ですね。そして、あとは、Type の Verb として、力変動詞「来る」ですね。それから、サ変動詞というのがあります。これは、「する、勉強する」などの動詞です。これはよく知っていると思います。ねっ。日本人の人は、時々、古い日本語の活用を言います。さっきも日本人の学生に聞きました。一段動詞。えーなんですか？ というような反応もありました。少し古い日本語の活用をよく知っていますが、今の日本語の活用をあまりよく知らない人もいます。

Conjugation Types

- 五段動詞(Type I Verbs : 書く、出す、立つ、死ぬ、読む …)
- 一段動詞(Type II Verbs : 見る、寝る、生きる、食べる…)
- 力変動詞(Type III Verb : 来る)
- サ変動詞(Type III Verbs : する、勉強する …)

04.12.13 2

じゃあ次のほうにいきます。不規則な活用の動詞、Irregular Verbs について見ていきます。

皆さんは、どんな不規則な動詞を知っていますか？ 誰か、オーストラリアの皆さん。不規則な動詞、「来る」や「する」の他に不規則な動詞は何がありますか？（笑い） じゃあ、例えば、「行く」これは不規則な動詞ですね。違いますか？（笑い） それから「くださる」。これは「くれる」の敬語の形です。「くれる」の敬語の形「くださる」これも不規則な動詞です。「ある」これも不規則な動詞ですね。「問う」これ、Ask ですが、「問う」というのも不規則な動詞。「愛する」これも不規則な動詞。

Irregular Verbs

- 「行く」
- 「くださる」 = honorific form of くれる
- 「ある」
- 「問う」
- 「愛する」

どこが不規則か分かりますか？

04.12.13 3

さあー日本人の皆さん、日本人の学生の皆さんも、これが不規則だっていうのは知っていましたか？ 日本人の皆さん、どうですか？ 学生のみなさん。あまりよく知らないようです。

じゃあ、この不規則な動詞について見ていきましょう。

「行く」というのは、力行の五段動詞といえます。Type Verb ですね。これは、「書く」と同じ活用をします。「書かない、書きます、書いて、書く、書けば、書こう」となります。五つあるので、五段動詞というふうに言います。これは、「行く」も力行の五段動詞です。

Irregular Verbs 1

- 「行く」 力行 五段動詞

行かない	行きます	行いて	行く	行けば	行こう
書かない	書きます	書いて	書く	書けば	書こう

- 「くださる」 ラ行五段動詞

くださる	くださいます	くださって	…
去る	去ります	去って	…

04.12.13 4

同じように考えてみましょう。「行かない、行きます、行いて、行く、行けば、行こう」。なんか変ですね。「行いて」の形がありません。ここが不規則です。Irregular になります。

「くださる」はどうでしょう？ 今度は、ラ行の五段動詞と言います。これは「去る、go away」という「去る」という動詞と同じ活用をします。「去る、去ります、去って、去る、去れば、去ろう」というふうになりますが、最初の三つを見ます。最初の「去る、去ります、去って」ですから、同じように考えれば、「くださる、くださります、くださって、くださる」となりますね。でも、使わない形があります。どれですか？ 「くださります」という形はありません。

Irregular Verbs 1

- 「行く」 力行五段動詞

書かない	書きます	書いて	書く	書けば	書こう
行かない	行きます	行って	行く	行けば	行こう

- 「くださる」 ラ行五段動詞

去る	去ります	去って	…
くださる	くださいます	くださって	…

04.12.13 5

じゃあ、この「行いて」「くださります」はどう言いますか？ 現在の、今の日本語では、「行って」になります。「行いて」ではありません。「行って」を使いますね。それから「去ります」の下に書いてある

「くださります」ではありません。「くださいます」を使います。これが、不規則な動詞と言う理由です。

さあ、まず、「くださいます」を見ていきましょう。「くださる」は honorific form の「くれる」という動詞の honorific form です。これは、ラ行の五段動詞には、「去る」それから「取る」「かぶさる」。

「かぶさる」という動詞は知っていますか？ 知らない人は手を挙げてください。はい。「かぶさる」と言うのは(動作)こう何かがあって、上からこうなることを「かぶさる」と言います。(布を手にとって)例えば、こうあって、これ、私が「かぶせる」ですが、この布が「かぶさる」と言います。「かぶさる」ですね。この「かぶさる」という動詞は、「かぶさる、かぶさります」。そして「かぶされ」という命令の形、imperative form があります。

しかし、同じラ行の五段動詞ですが、「くださる」「なさる」「おっしゃる」。全部これは honorific form です。ね。「くださる」は「くれる」の尊敬語の形です。「なさる」は「する」の尊敬語の形です。「おっしゃる」。「おっしゃる」は何の尊敬語の形ですか？ 誰か言ってください。シドニーの学生のみなさん。(無回答)まだ勉強していませんか？ (学生、笑い)

[シドニー大学生の回答]「言う」。

はい！正解です。ジャッキーさん覚えました。ジャッキーさん、また今度シドニーで会いましょう。

はい、この「おっしゃいます」。これは「言う」の尊敬語の形ですね。この尊敬語の形には特徴があります。「くださる」は「くださいます」になります。「くださります」にはなりません。「なさる」は「なさいます」になります。「なさります」とは言いません。「おっしゃる」は「おっしゃいます」と言います。「おっしゃります」とはおっしゃいません。ということですが、もう一つの不規則なのは、imperative form のところです。「去れ」「取れ」「かぶされ」全部「れ」で終わります。一番右のところですね。それが、「くださる」は「ください」。「なさる」は「なさい」。「おっしゃる」は「おっしゃい」。こうなります。この形は、規則な動詞の形です。たくさん不規則な動詞の形がありました。こういうところは、日本人あまり知らないところなんですね。

はい、もう一つの不規則な動詞を見ていきましょう。「行く」という動詞です。「行く」は、「行かない、行きます」で、「行って」のところが不規則ですが、「行く、行けば、行こう」と言います。「行く」だけが、この不規則な形を持っている動詞です。

今の共通語、standard Japanese では、この「行って」だけが不規則な形になります。ただ、方言を見ていきましょう。方言には、時々、この似た活用をする動詞があります。一つは、東京から少し北に行った所、東京の人も時々、こういう言い方をしますけれども、そこから東北地方、少し東京の北の地域ですね。ここで、「歩く」の活用を見ますと、東京の少し北の地域では、「歩かね」。歩かないのことで、

「歩かね」「歩きます」これは同じです。「歩って」といいます。「歩く、歩けば、歩こう」。「歩って」という形がある。あるって、なんてことですが、ある、あのー東京の少し年配の人、それから、えー少し北の方では若い人も使うんですね。

えー、はい、こっこの、ここの岐阜大学には、えー東京の少し北の方から来ている小林先生というがいます。手を挙げてください。

[小林先生]はい。

小林先生は、えー栃木県ですね。はい、関東地方の北です。東京から150km ぐらいですか？ (はい。)北に行った所の、えー、街からこの岐阜大学に来ていらっしゃいます。「歩って」という言葉を使ったことがあるそうです。この「歩って」という言葉、時々聞かれますので、皆さんも知っておくといいかもかもしれませんね。

Irregular Verbs 1

● ラ行五段動詞

去る	去ります	...	去れ
取る	取ります	...	取れ
かぶさる	かぶさります	...	かぶされ
くださる	くださいます	...	ください
なさる	なさいます	...	なさい
おっしゃる	おっしゃいます	...	おっしゃい

04.12.13 6

Irregular Verbs 1

● 「行く」 カ行 五段動詞

行かない	行きます	行って	行く	行けば	行こう
------	------	-----	----	-----	-----

● 北関東～東北地方の「歩く」

歩かね	歩きます	歩って	歩く	歩けば	歩こう
-----	------	-----	----	-----	-----

04.12.13 7

じゃあ「行って」と「歩いて」だけでしょうか？ そうでもないんですね。実は、今、皆さんにお話しているのは岐阜大学です。岐阜と言うところは、名古屋の北にあります。その岐阜県の揖斐郡。今はもうなくなりましたが、徳山村という村があります。村がありました。この徳山村。えー、岐阜県がこれです。ちょっと見えないですね。あまり良く見えませんね。ごめんなさい。だいたい岐阜県というのは、こういう形をしています。岐阜大学はここに 있습니다。真ん中にあります。名古屋の北、50km ぐらいです。そして、徳山村というのは、この一番西の端にあります。ありました。

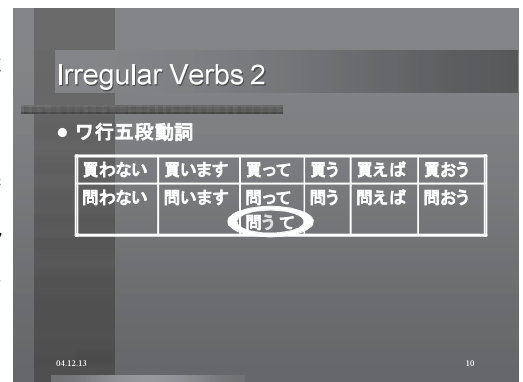


ここでは、共通語で「泳いで」と言うところを「泳って」という言い方があるそうです。共通語の「泳いで」が「泳って」という言い方になる。徳山方言というのはおもしろい方言です。「飛んで」も共通語で「飛んで」と言うところを、「飛って」。言いにくいですねえ。なかなか日本人には、あのー、小さい「つ」の後の濁点が付いた音ってのは難しいんですが、こういう発音をするそうです。

こういう言い方もあるんですが、この小さい「つ」。この発音を使うのが、実は、えー、東の日本の特徴だと言われています。東の日本、東京や関東地方などの方言では、小さい「つ」をよく使う。そういう傾向が知られています。みんながよく知っています。まず、こういう小さい「つ」について見ていきました。

もう一つ見ていきましょう。今度は皆さんにも聞いてみたいと思います。

「買う」という動詞があります。これは、ワ行の五段動詞といいます。「買わない、買います、買って、買う、買えば、買おう」ですね。みなさんも、ねえ、よく勉強していると思います。



えー、その同じように「問う」という動詞があります。「問う」というのは、質問するという意味ですね。ただ、あまり、今よく使う言葉ではないかもしれませんが。「問う」。ちょっと使わない時もあります。これはどうでしょう？ 同じように活用すれば、「買わない、問わない」「買います、問います」「買って、問って」「買う、問う」「買えば、問えば」「買おう、問おう」というふうになりますが、何か使わないところがありますね。シドニーのみなさんは、どれかの中で、使わない形がどれか知っていますか？

ジャッキーさんじゃない人、どうぞ。

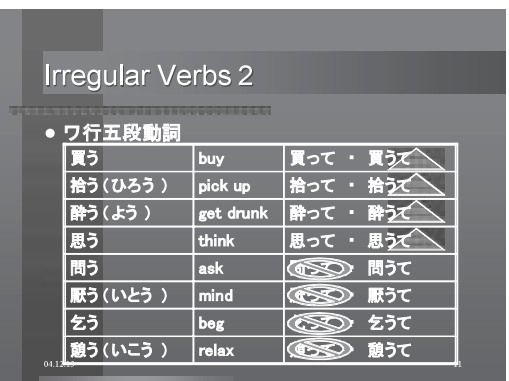
[シドニー大学生]「問って」

「問って」。はい、ありがとうございます。そうですね。この「問って」という形は、実は、この「問うて」の形を使うわけですね。

ワ行の五段動詞の中には、いくつか、こんなにたくさん動詞がありますが、もっとたくさんありますけれども、「買う」「捨う」「酔う」「思う」「問う」「厭う」という言葉もあります。「乞う」という言葉もあります。「憩う」という言葉もありますが、この下の4つは、小さい「つ」の「て」の形を使いません。どうやって言うのでしょうか？

そうですねえ。「問うて」「厭うて」「乞うて」「憩うて」。うーん、何か言いにくいかもしれませんが、こういう形を使わざるをえない。どうしても使わないといけないんですね。他に形がありませんから。

それに対して、「買う」「捨う」「酔う」「思う」。上の4つは、まあ、「買う」を「買うて」、「捨う」を「捨うて」、「酔う」を「酔うて」、「思う」を「思うて」というように言うのは、少し古い日本語では使いま



したし、今でも関西、大阪や京都の方言では使う形ですね。

日本語のワ行の五段動詞では、こういう2つのタイプに分けることができます。

さぁ~この2つのタイプはどうやって分かれているんでしょう? 皆さんで考えてください。「買う」「捨う」「酔う」「思う」この上の4つと、「問う」「厭う」「乞う」「憩う」この下の4つは、どう違うんですか? シドニーのみなさん、どうでしょう?

あっ、はい、ありがとうございます。もう書いてありますね。(笑い)
実は、シドニーのみなさんには、こう、プリントがいていますね。
えー、そうです。「買う」「捨う」「酔う」「思う」は、よく使う動詞です。「問う」「厭う」「乞う」「憩う」は、あまり使わない動詞ですね。岐阜大学の学生さんに聞いて見ましょう。「問う」「厭う」「乞う」「憩う」なんて動詞は、いつもよく使いますか?

[学生、首を振る]使わない、使わない、使わない、

はいそうです。ねえ、ただ、もう一つ理由があると思います。それは、ローマ字で書くと一つの特徴が見えてきます。それは何でしょう?

えー「う」のところは「w」を使っていますが、これは「買わない」

という時に使うので、まぁ「w」を入れていますが、発音は「買う」ですね。「捨う」「酔う」「思う」ですね。ここに注目してください。

あまりよく使わない方は、「t」の音と「k」の音、「と」という発音と「こ」という発音が入っています。まぁ、私もよくは分かりません。これ以上は分かりませんが、日本語が、えー、変化する時に、この「と」の発音と「こ」の発音があることが、もしかしたら原因になったかもしれません。これは、まだよく分からないところです。一つの可能性があるということですね。

Irregular Verbs 2

買う	問う
捨う(ひろう)	厭う(いとう)
酔う(よう)	乞う
思う	憩う(いこう)

◆ よく使う ←→ あまり使わない

◆ kawu	towu
◆ hirowu	itowu
yowu	kowu
omowu	ikowu

はい、じゃあ次に、「愛する」という動詞を見ていきましょう。「愛する」って不規則な動詞なんですか?

実は、「愛する」はサ変動詞と言われます。「する」が付いています。「する」ですから「しない、します、して、すれば」ねっ。「する、すれば、しろ、しよう」。言いにくいですね。こういうふうには活用をします。このような conjugation がありますが、「愛する」はどうでしょう?

同じように活用しましょう。「愛しない、愛します、愛して、愛する、愛すれば、愛しろ、愛しよう」。こうなりますね。でも、使わない形がいくつかありますか? 3つ、はい、どれですか?

一つは「愛しない」と言う形、使いません。「愛しろ」という形もあ

りません。「愛しよう」という形もありません。ねえ、ないですね。「勉強」だと、「勉強しない、勉強します、勉強して、勉強する、勉強すれば、勉強しろ、勉強しよう」というふうになり、全部「する」と同じですが、「愛する」は違うんですね。どうなりますか? 「愛しない」じゃない「愛さない」です。「愛しろ」という言葉はありません。「愛せ」と言います。「愛そう」なんて、ね、という言葉、えーねっ、隣の人を愛そうというふうになっ、えー、と言うことがあるでしょうね。このような言い方をたくさんします。

さぁ、よく見てください。これは、「愛さない、愛します、愛して、愛す、愛せば、愛せ、愛そう」というのはですね、サ行の五段動詞と同じです。「出す」という動詞と比較をしてみましょう。「出さない、出します、出して、出す、出せば、出せ、出そう」というふうになりますね。このように、サ行の五段動詞と同じなんですけど、すると「愛する」という動詞、「love」というすごく、あまり日本人は使わないかもしれませんが、すごく basic な動詞ですね。

この動詞、「愛します」「愛して」のところは、サ変「する」という動詞の形と、conjugation と、サ行の五段動詞「出す」の conjugation と全く同じ形です。「ます」の形と「て」の形を見てください。これは、全く同じ形ですから、どちらを使ってもいいはずですが、しかし、緑のところを見てください。「愛する」か「愛す」、「愛すれば」か「愛せば」。

Irregular Verbs 3

* 「愛する」 サ変動詞?

	サ変型	サ行五段型	サ行五段
しない	愛さない	愛さない	出さない
します	愛します	愛します	出します
して	愛して	愛して	出して
する	愛する	愛する	出す
すれば	愛すれば	愛すれば	出せば
しろ		愛せ	出せ
しよう		愛そう	出そう

2つの形がありますね。さあ、これは、どっちの形を使うのでしょうか？ Which? どっち? じゃあ、これは日本人の学生に聞いてみましょうか。じゃあ、みなさんに聞きますね。手を挙げてくれればいいですよ。「愛する」「愛す」どちらをよく使いますか？ それとも同じですか？ 「愛する」をよく使うという人は手を挙げてください。(全員、挙手) じゃあ「愛す」をよく使うという人は？ はい。もう夏も終わりましたから、アイスはあまり人気がないようですね。わからないかな。分かった？ (笑い)

じゃあ、「愛すれば」はどうでしょう？ 「愛せれば」と「愛せば」はどうでしょう？ ね、「みんなを愛すれば、私を愛してもらえ。」「みんなを愛せば、私を愛してもらえ。」どっちを使いますか？ じゃあ、岐阜大学の学生さん。「愛すれば」をよく使う人は手を挙げてください。「愛せば」をよく使う人は手を挙げてください。(全員、挙手) はい。分かりましたか？ シドニーのみなさん。

実は、「愛する」の形、サ変の形、「愛する」をよく使います。しかし、「愛せば」、これ五段型の動詞、えー、「愛せば」の形をよく使います。ですから、よく使うのは、「愛さない」五段型、「愛します、愛して」どちらも同じ「愛する」サ変型、「愛せば」五段型、「愛せ、愛そう」五段型。このようになるんですね。2つの活用が混ざっています。この2つの活用が混ざったところは、どちらをよく使うか、非常に揺れがあるようです。どちらでもいい、でもどちらも使えるんだけどこっちをよく使う。こういうことがあるようですね。

このような動詞は他にもたくさんあります。例えば、「任せる」という動詞があります。「任せる」は一段動詞、Type Verb ですね。ですから、このように活用します。「任せない、任せます、任せて、任せる、任せれば、任せる、任せよう」こう活用します。でも、「任さない、任します、任して、任す、任せば、任せ、任そう」という形もあるんですね。さあ、同じようにどっちをよく使うか聞いていきましょうか。ねえ。

これ、ちょっと本当は、みなさんにも予想をしてもらおうかな。シドニーのみなさん。みなさんはたくさん日本語を勉強しました。ね？

「任せない」か「任さない」、「任せます」か「任します」、「任せて」か「任して」、「任せる」か「任す」、「任せれば」か「任せば」、「任せる」か「任せ」、「任せよう」か「任そう」か、岩下先生は、どちらをよく使いますか？ (笑い) いえいえ。あの一、学生さんはどちらをよく聞きますか？ 岩下先生は、どちらをよく使っていますか？ みなさんで予想はありますか？ どっちをよく聞かなあという予想はありますか？

じゃあ、岐阜大学の学生にもう一度聞いてみましょう。「任さない」か「任せない」、どちらをよく使いますか？ 「任せない」をよく使う人？ 「任さない」かなという人？ 3人の人が「任さない」です。「任せない」という人が6人います。「任せない」の勝ちですね。じゃあ「任せます」か「任します」。「任せます」をよく使う人はどのくらいいますか？ あっ、これは全員が、9人の学生が全員「任せます」を使いました。「任します」の人はいませんでした。0人です。「任せて」「任して」どっちをよく使いますか？ 「任せて」をよく使うという人は手を挙げてください。あー、そうですか。えー、7人の人が「任せて」で手を挙げましたね。「任して」。2人の人が「任して」と言っています。面白いですね。(笑い)

「任せる」か「任す」か。ねえ「君には任せることができない。」「君には任すことができない。」どっちを使うでしょう？ 「任せることができない」という人はどれくらいいますか？ はいっ、あっ、全員でした。じゃあ、「任すことはできない」でもこれは不自然な日本語ですか？ 変な日本語ですか？ 言えますね。正しい日本語です。正しい日本語ですが、2つの形があって、「任せることができない」、「任すことができない」を使います。「任すことができない」は正しい日本語ですが、あまり使わないですね。

じゃあ続いて、「任せれば」と「任せば」。「僕に任せれば、うまくやるよ。」「僕に任せば、うまくやるよ。」「任せれば」を使う人は？ はいっ、今7人。「任せば」を使う人は？ 2人いましたね。

よく見ると同じ人が、五段型を使うということで挙げているのではありません。なんとなく、違う人なんですけれども、「任せれば」が7人と、「任せば」2人使っているようですね。「任せる」と言って任せてもらうか、「任せ」と

Irregular Verbs 3

Which? Dotch?

• 一段動詞? 五段動詞?

voting	一段型	五段型	voting
	任せない	任さない	
	任せます	任します	
	任せて	任して	
	任せる	任す	
	任せれば	任せば	
	任せる	任せ	
	任せよう	任そう	

言うか、これは予想がだいぶつきませんが、「任せろ」と言う人はいますか？ はい。全員が「任せろ」ですね。「任せ」という言葉はないようですね。あまり使わないようですね。

じゃあ、「彼に任せよう」「彼に任そう」。「彼に任せよう」を使う人はどうですか？ はい、やっぱり全員が「任せよう」を使うと言っています。シドニーのみなさん。この「させる」と「任す」、同じ意味の2つの動詞があります。「させる」も「任す」も同じ意味です。どちらも辞書に載っています。どちらも載っていますが、「任せない、任せます、任せて、させる、任せれば、任せろ、任せよう」の一段の形をよく使うということが分かりましたね。

はい、このようにいろんなその活用には、あの、不規則な部分があります。

じゃあ、もう一つ。今日は、たくさんのお話を準備してありますけれども、そろそろ疲れてきましたので、少し楽しいお話もしていきたいですね。あんまり楽しくないかな。

五段動詞には、このテ形というのがあります。テ形はちょっと難しいですね。ここでは、音便という形について、音便というかたちについて勉強したいと思います。

音便というのは、形が変わることです。えー、日本語の動詞には、これだけの活用の行があります。カ行、ガ行、サ行、タ行、ラ行、ワ行、ナ行、マ行、バ行。これだけ。その他にはないですね。カ行とガ行は、「書く」「泳ぐ」こういう動詞があります。「書く」は、kのところ

がなくなります。「かきて」ではないです。「かいて」の形になります。「泳ぐ」はgの部分になります。「およぎて」ではなく、「およいで」となります。これをイ音便といいます。「イ」の音が入るので、イ音便と言いますね。

そして、タ行、ラ行、ワ行はどうでしょう。「立つ」「取る」「洗う」。これは、「立って」「取って」「洗って」。これを促音便。小さい「つ」のことを促音と言うんですね。促音便と言います。音便の一つです。促音便と言います。

ナ行とマ行とバ行は、「死ぬ、死んで」「読む、読んで」「呼ぶ、呼んで」あ、同じ形ですね。私もワープロで打つときにいつも、「よんで」といったら call の意味の「呼んで」が出てきて、read の意味の「読んで」が出てこない時があります。時々困ります。これを「ん」の発音があります。「ん」の発音は、これを撥音と言います。pronunciation の方は発音、「ん」の方は撥音。アクセントが違います。撥音便と言います。

一個空いてますね。一つ空いてます。サ行が空いています。「出す」です。「出す」は「出して」の形になります。ここだけ音便がありません。勉強したとき変だなと思いませんか？ 日本人のみなさんは、このサ行だけ音便がないということを知っていましたか？ はい、日本人の学生は、そういうことを知りません。

えー、留学生として日本の大学に来たら、日本人の学生をいじめるのは、とても簡単です。ねっ、日本人は日本語をよく知りませんから、みなさんの方が先生になることができます。

で、この「出す」っていうのは、「出して」になりますが、でも「出して」という言葉だけ音便がない。これは本当にはないのでしょうか？ 本当にないのかな？

実は、サ行のイ音便というのがありました。「出す」というのは、実はこんな言葉があります。「かさ さいて ごみ だいてくる。」「かさ さいて ごみ だいてくる。」ねっ 変な言葉ですね。

東京の人はこれを、かさを割く。なんていうんですか、tear ですか？
ねえ、かさをピリピリに、ねえ、細かくちぎるんですね。そして、ごみを抱く。好きですか？ ごみを抱くのは？ こうやってギューツと、ギューツとこう、グツとこう抱くんですねえ。

これは、岐阜県でもよく使います。岐阜大学の近くに住んだら、「かさ さいて ごみ だいてくる。」って言う人もいるかもしれません。その時に変な事を考えないでください。これは、「割く」や「抱く」ではありません。「さす」「だす」という動詞なんです。「さす」が「さい

Om-bin

五段動詞のテ形 → 音便

カ行	書く kaku	書いて kaite	イ音便
ガ行	泳ぐ oyogu	泳いで oyoidete	
サ行	出す dasu	出して dasite	
タ行	立つ tatsu	立って tatte	促音便
ラ行	取る toru	取って totte	そくおんびん
ワ行	洗う arau	洗って aratte	
ナ行	死ぬ shinu	死んで shinde	撥音便
マ行	読む yomu	読んで yonde	はつおんびん
バ行	呼ぶ yobu	呼んで yonde	

Om-bin

サ行イ音便

かさ さいて ごみ だいてくる。
↓
割く 出す
さす

＝かさを さして ごみを 出してる。

て」になります。「出す」が「だいて」になります。これは、ですから「かさを さして ごみを 出してくる。」という意味になりますね。

このようなサ行のイ音便と言うものがあるんですが、このサ行のイ音便、ちょっと日本の地図が見えますか？ 見えませんか？ プリントの方を見たほうが分かりやすいかもしれません。日本の地図があります。東京がここにいます。ねっ、みなさんのプリントには東京ちょっと入ってないかもしれませんが、えー、そして、岐阜はここにいます。



緑色で書いたところが「ごみを出す」、えー「出した」を「出いた」というふうにする地域です。ごみを「出いた」。そして、かさだったら「さいた」というふうにするところです。緑色のところは、このようなサ行のイ音便を使う地域です。みなさんはどこを知っていますか？

そうですね、岐阜でもよく使います。それから静岡県、岡山県、四国、九州の北のほうでもよく使うようですね。私は、この岐阜大学に来る前、生まれたのは岐阜ですが、えー、いろんなところに行きました。イタリアのローマで日本語を教えたこともあります。岐阜大学の、えー、大学に仕事で帰ってくる前は、富山というところにいました。富山で、面白いビデオ、面白いテレビをやっていたのでそれを録画しました。みなさんにもちょっと観てもらおうと思います。

(ビデオ：内容は省略)

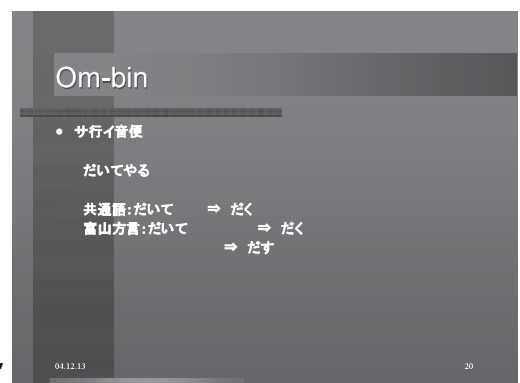
分かりましたか？ 難しいですね。少し説明をします。説明をします。えー、富山の方言ですので、ちょっと岐阜の言葉とも、東京の言葉とも違います。えー、「おもってやる」「おごる」他の人の、えー、お金をですね、払うことを「おごる」と言いますが、それを富山では「おもる」といいます。「おもったっちゃ」、おごってあげます。あなたの分を払いますよということですね。

えー、それからその後で、社会人、この人たちはサラリーマンです。サラリーマンのことを社会人と言いますね。社会人ですから、えー、その、一緒に払いましょう。ちょっと勘違いがあるようですね、この辺は。

それから、「だいてやる」「だいてやる」という言葉が分かりましたか？ もうわかりますね。「だいてやる」えー、東京で「だいてやる」と言ったら何でしょう？ えーっと、ぬいぐるみでもあればよかったですが、抱いてやるですね。こう、ギュッと抱いてやるですね。ですが、富山ですからちょっと違います。もう一回みてください。

(ビデオ)

はい、「飲み代をだいてやる」というふうに書いてありましたが、日本語はよく省略をしますね。えー、ですから「飲み代を」とは言いません。「お金をだいてやる」でも、「お金を」という言葉を言わないですね。だから、だいてやると言ったら、私が払ってあげる、出してあげるという意味ですが、富山では「だいてやる」という意味になる。ちょっと怖いですね。



はい、これはサ行のイ音便のこのシステムを知っていれば大丈夫です。「だいてやる」というのは、共通語では「だいて」は「だく」の意味ですが、富山の方言、岐阜の方言のそうですが、「だいて」と言えば、「だく」の他に「だす」と言う可能性もあります。「出す」かもしれません。「抱く」かもしれません。そのシチュエーションでみなさんは分かる。わかりますね？

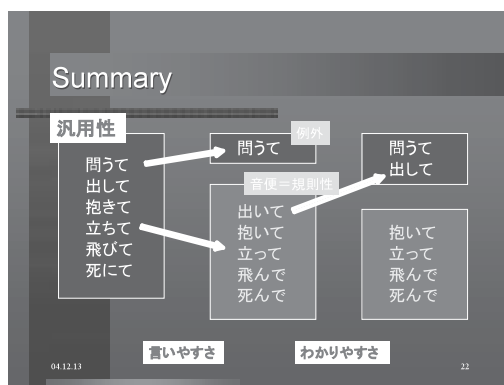
はい、このサ行のイ音便というのはですね、実は、別に岐阜県だけではないです。この地図を見てください。岐阜はここにいますね。オレンジ色のところが岐阜です。そして、京都。黄色い字で書いてあります、京都、真ん中に

あります。昔、日本の首都は capital は、えー、京都でしたね。ですから、言葉も文化も全部京都から地方に発信されました。伝わっていききました。ですから、サ行のイ音便、例えば「だいて」というのも京都で生まれました。京都で生まれて、それがだんだん広まりました。「だいて」「だいて」「だいて」というふうになりました。

そして、岐阜で使うようになったときに、京都の人たちは、突然やめてしまったんですね。「だして」というふうになるようになりました。だから、今見てもらうと、京都の近くだけあまり緑のところがありません。黒いところは、特別な形を使うところです。「だいせ」というふうな形、「せ」で言うというふうなところですが、これはちょっと特別な形です、そんなに広くありません。実際には、滋賀県の南の方の、えー、多いっていうふう聞いていますけども、こういう、あの一、京都を中心に広まっていて、この京都がやめたので今の東京の共通語も「だして」というふうになったということなんですね。こういうサ行のイ音便、昔は共通語だったんですが今は、使わなくなってしまったということです。



さあ、まとめていきましょう。まとめていきますと、この conjugation の中で、このテ形について、音便の形についてまとめていきましょう。「問う」というのは「問うて」「出して」「抱きて」「立ちて」「飛びて」「死にて」、このように古い時代にはすべてが規則的に、regular な活用をしていました。全部「いて」の形になるんですね。これは、汎用性とでも言いますか、すべての動詞が同じように活用すること。これを汎用性。みなさんの、プリントにはこの言葉は入れませんでした。えー、すべての動詞が同じように活用すること。汎用性、要するに規則性ですね。すべての動詞が同じようであること。それがまず第一にあります。しかし、「立ちて」や「問うて」、この2つの活用が2つに分かれました。「問うて」の方はあまり使われない、そして、まあ、ちょっと音の特徴もある。そのことで「問うて」のままで残りました。でも、だ、「だいて」「だいて」ですね。「だいて」というのはこれは「出す」です。「だいて」これは「抱く」です。「立って、飛んで、死んで」という音便の形に変わったんですね。これは、音便も一つの規則性です。「問うて」の方が例外になりました。古い時代の規則的な活用が、例外になったんですね。そして、「だいて」なんかどっちなの？ 「だいてやる」うれしいの？ セクハラなの？ 分かりません。困ります。とっても困ることがあるんですね。えー、ですから、えー、「出いて」というのが、「出して」というもの形に戻ってしまいました。



このように、活用というのは、すべてに同じルールが使われる汎用性。この汎用性が、言いやすいように変わります。言いやすさによって、少し変化をするんですね。この言いやすさによって変化をして、その後やっぱりわかりにくいなあとということでもう一度変化をして、今のような現代の日本語のこのような形になっていった。このようなことが、日本語についてまあ少し言えると思います。ちょっと今日の話は、あの一、岩下先生の動詞のタイプということからちょっとずれていったかもしれませんが。えー、まあ、岐阜の方言も少し、えー、このような特徴を持った方言ですし、共通語、東京の言葉だけではちょっと分からないこともたくさんあります。えー、このようなことも、えー、面白い、みなさんは九州の方言の negative forms を勉強したそうですね。ねっ。ですから、こういう岐阜の方言についてもまた、勉強してくれるとうれしいと思います。

私の話はこれで終わりにします。(拍手)

4. 第2回授業「テイルの意味」

2回目の授業では、ちょうど台風23号が接近していたことと、回線の接続がうまくいかず、また中断もあったこと



で、前回よりもおちついた雰囲気での授業とはならなかった。

前半に、前回の内容に関する質問に関するフィードバックを行ったが、この部分については、前節と重複する部分もあり、また紙幅の都合からも省略し、今回のテーマである「テイルの意味」に関する部分を以降に挙げる。

はい、こんにちは。はい、2回目ですね。10月です。今日は、岐阜は雨が降っています。たくさん雨が降っています。風も吹いています。今日は台風が来ました。台風は知っていますか？ 強い風、そう強い雨が降っています。

じゃあ、話をしたいと思います。

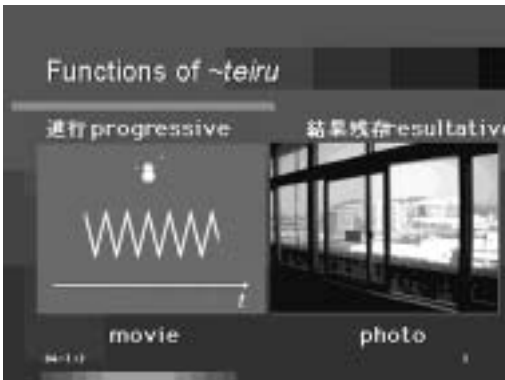
今日は「ている」の話をします。「ている」は、progressive の意味とそれから resultative. progressive, progressive は進行と言います。いろいろな言い方があります。今日は進行と言います。ときどき progressive という言葉を使います。これは、「雪が降っている」。英語では It is snowing. ですね。それから「田中が勉強している。」studying, ing の形を使いますね。これが、progressive の意味です。

結果残存というものもあります。もう、岩下先生がたくさん説明されたと思います。私は、簡単に説明します。これは、resultative。「窓が開いている。」「ている」ですが、英語では ing の形を使いませんね。「この車は壊れている。」これは、broken の形ですね。Breaking ではありませんね。

この進行, progressive という意味と、結果残存という意味 resultative. この二つの意味が「ている」にはあります。

進行というのは、ちょうどここに絵がありますが、「雪が降っている。」動いています。動いています。ね、動いているこの姿が進行です。「勉強しています。」これも動いています。動かねえぞ。あれっ？ 動きません。あっ、勉強しています。はい、今勉強していますね。これが進行, progressive の意味ですね。

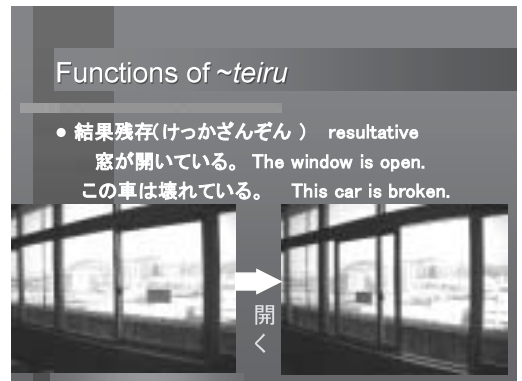
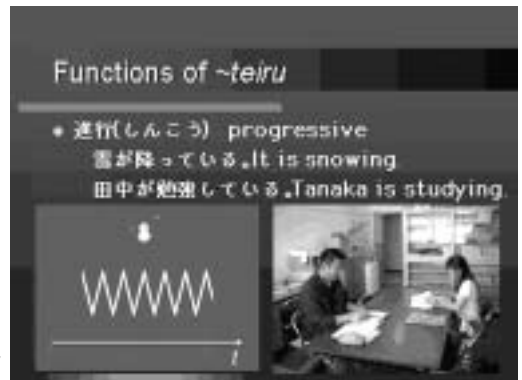
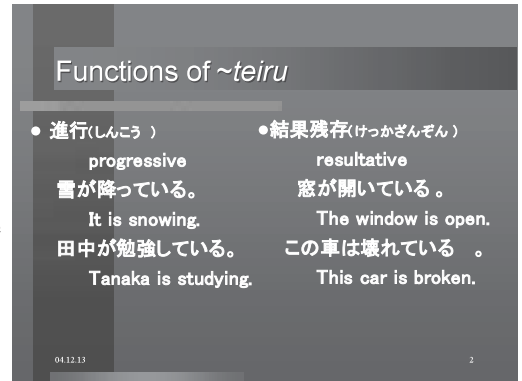
じゃあ、resultative の意味は何でしょう？ これは、一枚の写真を見てください。これは岐阜大学の教育学部、この建物の6階から外を見た写真です。建物は、病院です。岐阜大学の病院です。大きい建物です。



窓を見てください。窓が開いています。「開いている」左の写真はどうですか？ 閉まっ

ています。閉まっています。開きます。開きました。開いています。このように、何かの変化、「開く」という change があって、「開いている」といいます。これが、「ている」の2番目の使い方, resultative の使い方ですね。

このように、進行は動きます。動きます。雪だるまが動きます。動



かないですねえ(笑い)あれっ、動きません。はい、結果残存というのは、「ドアが開きます」そして、今これが「ドアが開いています」ですね。これは、ちょうど写真のようです。

進行, progressive は, movie のようです。そして、こちらの結果残存は写真のようです。このように「ている」の意味が、2つあるということを知っておいてください。

進行にはいくつかの他の意味があります。これは簡単にお話します。

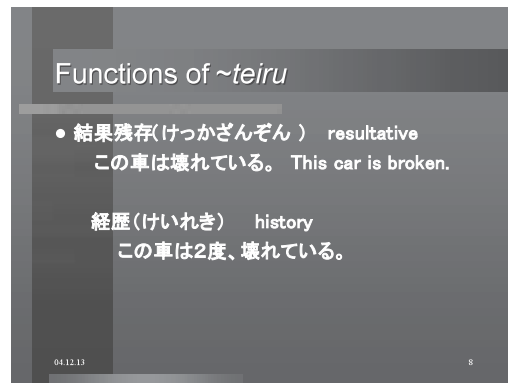
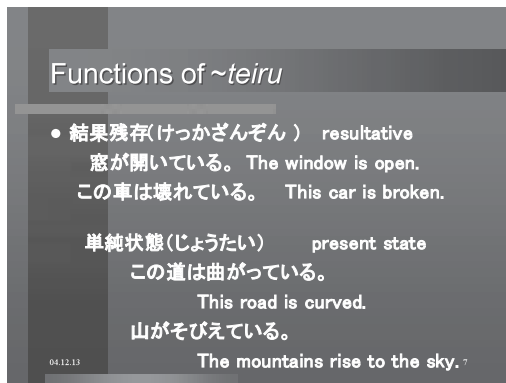
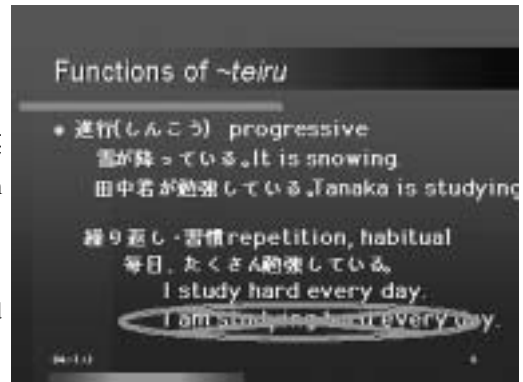
進行には、繰り返し、習慣、何回も何回も同じことが繰り返されることがあります。例えば、「毎日たくさん勉強している。」これは、英語ではどう言いますか? 「I study hard every day .」ですか? 「I am studying hard every day .」ですか? 岩下先生、誰か当ててください。聞えますか? はいっ、メリンさんお願いします。(学生:I study hard every day) はい、ありがとうございます。これ(I am studying hard every day) は、使いませんか? ねっ、使いません。

日本語では、「毎日たくさん勉強している」「ている」の形を使います。これは、毎日繰り返します。だから、「ている」の形を使います。これは、progressive と同じ原理ですね。同じ考え方です。

もう一つあります。結果残存と同じ考え方は何でしょう? これは、今の状態というのがあります。「この道は曲がっている。」そして、「山がそびえている。」これも「ている」の結果残存に似た使い方ですね。

誰かがそういう経歴を持っています。何かがそういう経歴を持っています。「この車は2度、壊れている。」この「ている」は今ありませんが、その壊れたということを手が持っているという意味で使います。resultative の一つですね。

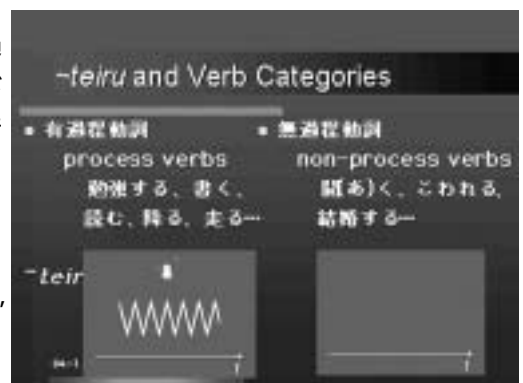
これは、まあ、簡単に説明しましたので、また、ちょっと、あまり principal なところではありませんので、あの、考えなくてもいいです。難しかったらいいです。とばしていきましょう。



では、どういう動詞がこの「ている」の形で、progressive の意味になりますか? それから、どういう動詞が、resultative の意味になりますか? それを考えましょう。

私は今、こういう言葉を使います。有過程動詞、これは process がある、過程 process がある動詞 verb のことを有過程動詞と呼びます。有過程動詞は、「勉強する」や「書く」、「読む」や「降る」「走る」などが有過程動詞です。process verb です。これらは、「ている」の意味が進行になります。このような形ですね。動きますかね? 動きました。このように、これは進行の意味になります。

もう一つ動詞があります。動詞のタイプがあります。無過程動詞と言います。non-process verb 「開く」や「壊れる」「結婚する」などは、この non-process verb ですね。その「ている」の形は、結果残存の形になります。ちょうど、さっきのドアが、どっか行っちゃった。「開きま



す」開いてその結果が残っています。「開いています」この形になります。

これは、動詞のタイプが process verb は「ている」が。無過程動詞, non-process verb はこの「ている」の形が resultative の形になるというように考えることができます。おそらく瞬間動詞とそれから、継続動詞と同じようなものだと思います。

有過程動詞というのは、「ている」が「書いている」でしたら、これは progressive の意味になりますね。でも、「もう」や「すでに」が付くと、それは「もう書いている」。それは、「書きました」という意味になります。resultative の意味に変わります。

無過程動詞はどうでしょう。non-process verb は、これは、「ている」がいつも resultative ですが、「ひらひら」や「どんどん」このような副詞と一緒に使うと「ひらひら落ちている」「どんどん死んでいる」嫌ですね。このように、progressive の意味になります。

~teiru and Verb Categories

- 有過程動詞 process verbs
書く、読む、降る、走る ...
teiru = 進行 progressive
書いている I'm writing something.
- もう ~、すでに ~... + teiru
もう 書いている、すでに 読んでいる ...
I've already written ~.
⇒ 結果残存 resultative も

04.12.13 10

~teiru and Verb Categories

- 無過程動詞 non-process verbs
落ちている、死ぬ、結婚する ...
teiru = 結果残存 resultative
- ひらひら、どんどん... + teiru
ひらひら 落ちている、どんどん死んでいる
⇒ 進行 progressive
(繰り返し repetition)

04.12.13 11

このように、動詞は、まず、最初に、カテゴリーによって process verb は progressive に、non-process verb は resultative になりますが、副詞を使うと違う意味を表すこともできます。9月の質問は、この質問でした。とても難しい質問でした。シドニーの学生さんからたくさん質問してもらいましたが、とても難しかったです。日本人の中でも、「どっちかな～わからないな」ということがありました。難しいですね。これは、もっとシチュエーションがほしいですね。シチュエーションによって決まります。

はい、それでは、その次の話になります。今日は、少し、動詞の他動詞と自動詞, transitive verb と intransitive verb と「ている」の形の話をしたと思います。「開ける」これは transitive verb です。それから、「開く」これは intransitive verb。その他にも、transitive が「閉める」、intransitive verb が「閉まる」。transitive が「壊す」、intransitive verb が「壊れる」。それから「消す」「消える」「上げる」「上がる」「下ろす」「下りる」などのペアがたくさんあります。日本語にはこの transitive と intransitive のペアがたくさんあります。

~teiru and Verb Categories

vt + teiru	vt	vi	vi + teiru
開けている	開ける	開く	開いている
閉めている	閉める	閉まる	閉まっている
壊している	壊す	壊れる	壊れている
消している	消す	消える	消えている
上げている	上げる	上がる	上がっている
下ろしている	下ろす	下りる	下りている

04.12.13 11

英語ではどうですか？ 英語には、たくさん transitive verb と intransitive verb のペアがありますか？ 誰か教えてください。はい、ジャッキーさん。ありますか？ 教えてください。どれ、何がありますか？（わかりません）はい、あの一、英語にはですね、いつも「開く」「開ける」は同じ形ですね。Open は「開ける」にもなります。「開く」にもなります。Open は transitive にも intransitive にも使いますね。close ,close も「閉める」transitive verb にも、「閉まる」intransitive verb にも使います。

僕が知っている、形が違う動詞というのは2つあります。英語の lie というのは、lay という動詞とペアがあるとあります。それから、rise という動詞は raise という言葉とペアになります。この2つしか知りません。岩下先生は知っていますか？

はい、いじわるをしてごめんなさい。2つしかありません。みなさんは、英語が得意ですか？ 英語を話す人は、英語のことをあまりよく知りません。日本語を話す人は、日本語のことをよく知りません。まーそれでいいです。

はい、ごめんなさい、いじわるをしました。

さて、「開ける」「開く」「閉まる」「閉める」に「ている」を付けてみましょう。「開けている、閉めている、壊している、消している、上げている、下ろしている」transitive verb に「ている」を付けた形です。もう一つは、「開いている、閉まっている、壊れている、消えている、上がっている、下りている」。全部、intransitive verb に「ている」が付いています。どういう違いがありますか？

「開けている」は、「開けている」は、(映像を見て)これが「開けている」です。ねっ、「開けている」。これは、process verb で、この意味は、これは、progressive の意味で使いますね。transitive verb はいつも「ている」を付けると、この progressive の意味になります。ペアがある場合にはそうです。

intransitive verb の「ている」は、この写真のようです。右の写真のようです。こちらの右の写真のようです。これは、私の研究室です。汚い研究室です。ここ「開いている」は、「ドアが開いている」は、この写真のようです。「ドアを開けている」はこちらの movie のようです。これが「開けている」です。

ペアがあるときには、transitive verb は progressive の意味に「ている」がなります。intransitive verb は、「ている」が resultative の意味になりますね。

はい。実はですね、これから面白いことをお話します。みなさんは、この動詞を知っていますか？ 「病む」「結ぶ」「おぼえる」「きたえる」「ほす」。難しい、あの一、動詞はありますか？ 大丈夫ですか？

「病む」は病気になるということですね。「結ぶ」は、何かと何かを一緒にするということですね。「靴のひもを結ぶ」というように使います。「おぼえる」はよく知っていますね。「きたえる」運動をして体を鍛えます。このように使いますね。Training することを鍛えると言います。「干す」。今日はシドニーの天気はどうですか？ いい天気ですか？

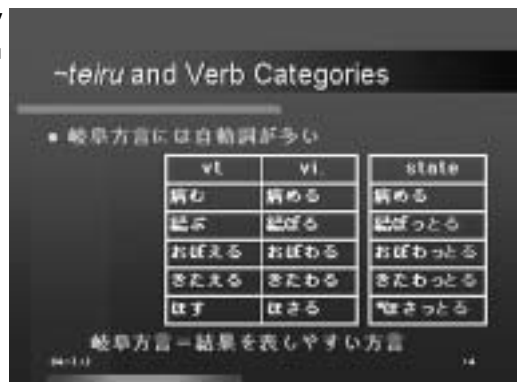
いい天気ですね。違う？ あーそう、ごめんなさい。天気がいい日は洗濯をして服を干します。「干す」ですね。

実は、岐阜の動詞には、自動詞が多いです。みなさんは、この transitive verb の自動詞を知っていますか？ 岩下先生は、この transitive verb の自動詞を知っていますか？ ありますか？ (ないです) ないですね、はい。

東京の言葉には、これらの動詞の intransitive verb はありません。でも、岐阜の言葉には、このペアになる intransitive verb があります。それはなんでしょう？ 「病む」は「病める」という形があります。例えば、「歯が病める」歯が痛いということ。「歯が病める」は歯が痛いという意味で使います。「結ぼる」これは、靴のひもが「結ぼる」と言います。「靴のひもを結ぶ」「靴のひもが結ぼる」と言います。あわてて靴のひもを結ぶとき、結ぼってしまいます。「おぼえる」に対しては、「おぼわる」という intransitive があります。岐阜の学生は、これを方言だとはよく知りません。いつも、「おぼわる」「おぼわった」と言います。東京では使いません。「きたわる」これも強くなったという時に、「きたわった」というように使っています。去年の卒業生が大学にきました。就職をして仕事をしています。たくさん training をしました。「きたわった」と言いました。岐阜の人ですね。「ほす」は、「ほさる」という言葉が辞書にあります。

これは、状態を表すときに「病める」「病める」は、このままで使いますが、「結ぼつとる」「おぼわつとる」「きたわつとる」「ほさつとる」というのはちょっと聞いたことがないですが、「とる」をつけることがあります。岐阜の方言は、自動詞を使って、「とる」の形を使います。これらは、その結果をよく表す表現なんですね。

(赤ちゃんが廊下から階段を上る映像) あっ、これは何でしょう？ あまりよく見えませんね。ちょっと動かしてみます。危ない、危ない、大丈夫です。お父さんの手が後ろにあります。あー、危ない、危ない、大丈夫です。お父さ



んがちゃんと見ています。(笑い) はい、これは私の娘です。すみません。これは、まだ11月5日が誕生日です。まだ、一歳ではありません。もうすぐ一歳になります。階段が登れるようになりました。ゆっくり階段を登ります。

さて、彼女は、「階段をのぼった」のでしょうか？ 「階段をあがった」のでしょうか？ どちらですか？ 「2階へのぼった」のでしょうか？ 「2階へあがった」のでしょうか、どちらでしょうか？ 「階段を登って2階へあがる」のでしょうか？ 「階段をあがって2階へのぼる」のでしょうか、どちらでしょうか？

さあ、これは日本人の学生に聞いてみたいと思います。「階段を登る」を使う人はどのくらいいますか？(全員挙手)「階段をあがる」を使う人は？ あっ、いませんね。じゃあ「2階へ登る」という人は？ あっ。「2階へ上がる」はどうですか？(全員挙手) はい、ということは、番と番を使いますから「階段を登って2階へあがる」そうですね。

「階段をのぼる」「2階へあがる」この形を使いますね。「のぼる」と「あがる」はどう違いますか？ よく質問があります。よく似た言葉です。どちらも上へ行くという意味があります。

でも、どうして「のぼる」は「階段をのぼって」この process を表し、「あがる」は「2階へあがって」の resultative の部分を表すのでしょうか？ 実は、「のぼる」は、ペアがありません。「のぼる」は intransitive verb ですが、「のぼる」の transitive verb がありません。ペアがありませんね。ペアがない動詞は、これは、process verb になります。「のぼっている」は進行、progressive の意味になるんですね。

「あがる」はどうでしょう？ 「あがる」は intransitive verb ですが、この transitive の形がありますね。「あげる」です。ペアがあります。ペアがあるので、これは non-process verb となります。これは、「あがっている」は、この結果の形、resultative の意味になるんですね。

「のぼる」と「あがる」それだけは非常に近いですが、「ている」を付けると意味が全然違います。5月になると日本では、鯉のぼりをあげます。鯉のぼりは、「のぼっている」ではありません。「あがっている」と言います。「のぼる」と「あがる」はこのように、ペアがあるか、ないか。それによって process を表すか、そうではないか、result を表すかということが違うんですね。ということにも関係があります。

さて、ここからまた、少し方言の話をしてします。「ている」というのは、今見てきたように、東京では progressive の意味があります。resultative の意味もあります。どうして日本語では同じ形を使うのでしょうか？

英語では、progressive は be + ing の形ですね。resultative の形は、be + adjective、もしくは past participle ですが、の形を使いますね。日本語では、どちらも「ている」です。

実は、同じ形を使うのは、東日本と大阪や京都などの近畿地方だけです。この地図を見てください。小さいですね、見えますか？ 20ページの図を見てください。この緑色の部分、これを色をつけてみましょう。ちょっと見えにくいですが、大丈夫ですよ。

これを見てください。緑色の部分は、progressive の意味と resultative の意味が違う形で表される dialect、方言の地域です。東京はここにありません。東京は白いところですね。白いところでは、どちらも「ている」



~teiru and Verb Categories

- 「のぼる」と「あがる」はどう違う？

(1) 階段をのぼる。	⇒過程 process
(2) ? 階段をあがる。	
(3) ? 2階へのぼる。	
(4) 2階へあがる。	⇒結果 result
(5) 階段をのぼって2階へあがる。	
(6) ? 階段をあがって2階へのぼる。	

04.12.13 17

~teiru and Verb Categories

- のぼる
 - = 無対他動詞(ペアがない動詞)
 - ⇒ 有過程動詞 process verb
 - のぼっている = 進行 progressive
- あがる
 - = 有対自動詞(ペアがある動詞)
 - ⇒ 無過程動詞 non-process verb
 - あがっている = 結果残存 resultative

04.12.13 18

「のぼる」と「あがる」それだけは非常に近いですが、「ている」を付けると意味が全然違います。5月になると日本では、鯉のぼりをあげます。鯉のぼりは、「のぼっている」ではありません。「あがっている」と言います。「のぼる」と「あがる」はこのように、ペアがあるか、ないか。それによって process を表すか、そうではないか、result を表すかということが違うんですね。ということにも関係があります。

~teiru in the dialects

- ~teiru = 進行 progressive
結果残存 resultative

どうして日本語では同じ形を使うのか。
実は同じ形を使うのは、東日本と近畿だけ。

04.12.13 19

を使います。東日本,東の方の日本,東日本では,だいたい「ている」を両方とも使います。同じ形を使います。progressive も resultative も同じ形を使います。東日本の形は簡単な形です。

西日本の形は,ちょっと難しいですが,英語と同じ区別をしています。progressive と resultative の形が違います。

このあたりはどうでしょう? 大阪はここにあります。京都はここです。岐阜市はこのあたりにあります。もう少し北かな? この岐阜市があるところを岐阜県と言いますが,この岐阜県の北の方,上の方が緑色になっています。ここを飛騨地方といいます。山がたくさんあるところです。最近,熊がよく出ます。岐阜市でも昨日熊が出ました。はい。

この岐阜県の飛騨地方では,「とる」と「よる」を使い分けます。progressive の意味では,「雨降りよる」これが,雨が降っているという意味ですが,「勉強しよる」これは勉強しているという意味です。同じように共通語,東京の言葉では「ている」を使いますが,resultative は「窓開いとる」「とる」の形を使います。「壊れとる」「とる」の形を使います。progressive は「よる」を使います。resultative は「とる」を使います。これが飛騨地方の言い方です。

ただ,今はちょっと progressive のときに「よる」も「とる」も使うことがありますし,ただ resultative のときに「よる」を使うことはありません。少し変わってきているんですね。24ページは,少し,いま変わっているということです。

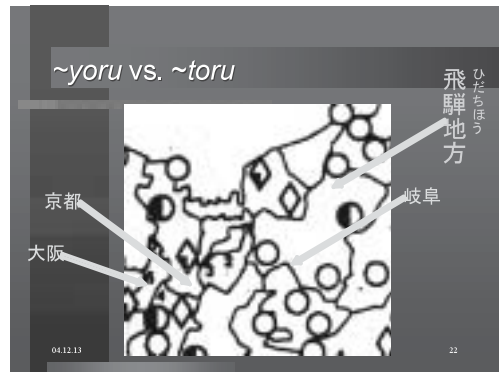
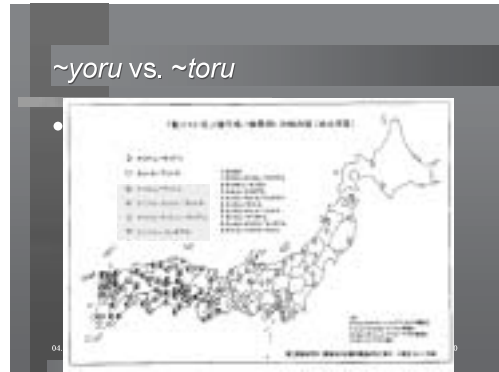
さて,過去では「雨降りよった」雨が降っていたということになりますね。「田中君が勉強しよった」これは,田中君が勉強していたということになりますね。

では,次の文はどんな意味になるでしょう? 「車,ぶつかりよった」「金魚,死によった」。どうでしょうね?

「車,ぶつかりよった」というのは,(映像)あーっ。「ぶつかりそうだったが,ぶつからなかった」って言う意味でしょうか? あーっ。「ぶつかりそうだったが,ぶつからなかった」ですね。でしょうか? それとも「ぶつかった」でしょうか? どちらでしょう。

「車,ぶつかりよった」は,実は「車がぶつかりそうだったけれど,ぶつからなかった」という意味が,昔からの正しい形,正しい意味ですね。昔はそうだった。今はちょっと変わってきていますが,岐阜県の中で,方言の話を聞きに行きますと,おじいさんやおばあさんは「ぶつからなかった」というふうに教えてくれます。今は,「ぶつかった」という若い人が多いです。ちょっと変わってきています。

英語ではどうですか? シドニーのみなさん,教えてください。こんな英語はありますか?(The cars were clashing)これは,「ぶつかりそうだったが,ぶつからなかった」という意味ですか? 「ぶつかった」んですか? それとも「こんな英語はない」よ。教えてください。じゃあ,aだと思っ人はどれくらいいますか? 「ぶつかりそうだったが,ぶつからなかった」という,シドニーの英語の native のみなさんはどう



~yuru vs. ~toru

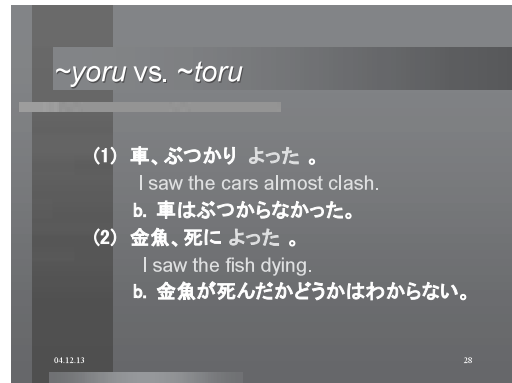
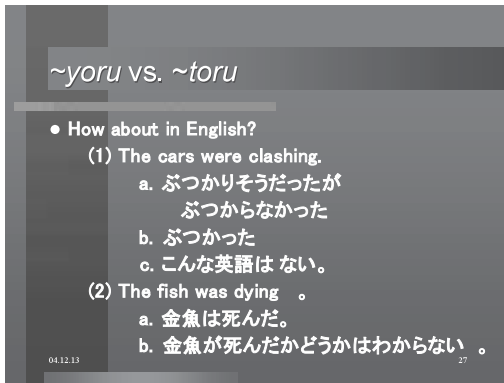
- 進行(しんこう) progressive
雨降りよる/とる。It is raining.
田中君が勉強しよる/とる。
Tanaka is studying.
- 結果残存(けっかざんぞん) resultative
窓が開いとる。The window is open.
この車は壊れとる。This car is broken.
×よる

~yuru vs. ~toru

● 「車,ぶつかりよった」

ぶつかりそうだったが
ぶつからなかった

ぶつかった



ですか？（一人です）じゃあ、「ぶつかった」という人はいますか？（いないです）はい、こんな英語はないんですね。（笑い）ということは、こんな英語はないということですか？ はい、ありがとうございます。ないということ、英語の先生から聞いていました。（笑い）

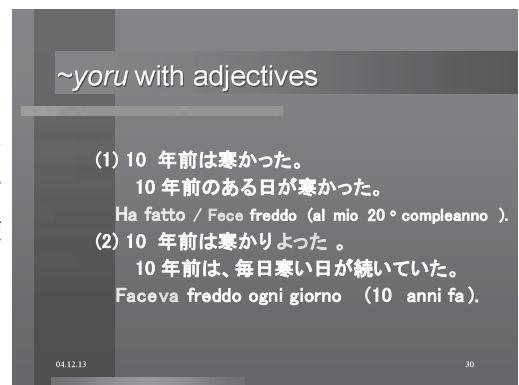
2番（The fish was dying）はどうですか？ この英語は正しい英語ですか？「金魚は死んだ」んですか？「死んだかどうか分からない」ですか、どうですか？ シドニーのみなさん、教えてください。「金魚は死にました」aだという人はどれだけいますか？（aの人2人です）2人、では「死んだかどうか分からない」という人は？ はい、ありがとうございます。ちょうど、日本語の、岐阜の、飛騨地方の言い方ですね。飛騨地方の「よる」は、みなさんのこの2番の英語のような意味をもっていると言えると思います。

実際には、「車、ぶつかりよった」はぶつからなかった。「金魚、死によった」は死ななかった。よく分からないけど、その前のところを見ていた、車がもう少しでぶつかるところを見ていたという意味になります。「金魚、死によった」も、金魚が死にそうところを見ていたという意味になるというふうに言えます。「よる」は、非常に、その、英語のingに近い意味をときどき持ちます。

さあ、この意味の違い分かりますか？ 今度は、「かりよる」という形です。

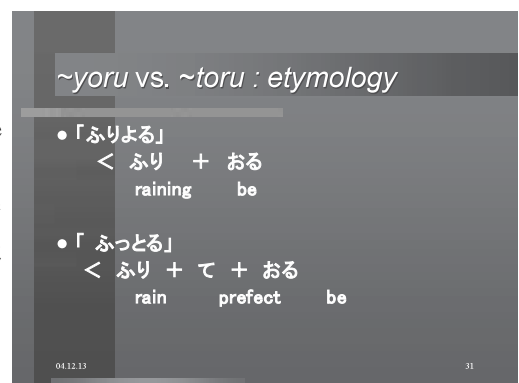
「寒かった」これは東京で使う「寒い」の意味です。「10年前のある日が寒かった」。でも、「10年前は寒かりよった」。これも岐阜の方言です。adjectiveに「よる」が付きます。岐阜の中でも、本当に少ないですね、これがあるのは。本当に少ないところですが、「かりよった」を使うところがあります。

(1) 番は、ある日寒かった。(2) 番は、毎日寒かった。英語はちょっと分かりませんので、イタリア語の例を出します。イタリア語には2つの過去があるそうですね。シンプルな過去、これはこのように、「20歳の私の二十歳の誕生日、その日寒かった」という形と、「10年前、毎日寒かった」という形がイタリア語では違います。ちょうどそのような違いが日本語には、日本語の中に岐阜の方言の中に残っている。そういうようなことがあります。



「とる」と「よる」というのは、「ふりよる」は「ふり」と「おる」がくっついていきます。「ふり」はrainingの意味ですが、「おる」はbeの意味です。これがprogressiveの意味になりますね。「ふっとる」というのは、「ふりておる」。「て」はperfectの意味をもっています。ですから、これはresultativeの意味になる。こういう使い分けを、西日本の広い地域でやっています。

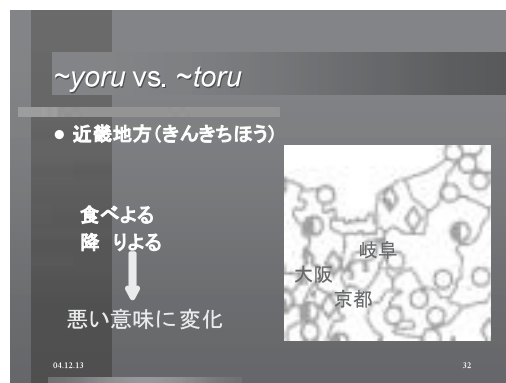
でも、だんだん東京と同じ言い方になって、この区別はなくなりつつあります。近畿地方と岐阜の方言では、ちょうどこのあたりですね。



「食べよる」「降りよる」というのが、悪い意味に変化し始めています。こういうように使いますね。

「台風来よるで」「台風が来よるで、はよ帰らな」これでいいですか？
 (笑い)「台風来よるで、はよ帰らなあかん」というように、「よる」は、あまりよくない事に使うことが多いですね。近畿地方では、こういうふうに使われることが多くなっています。ちょっと意味が変わってきました。

はい、今日は雨がすごく降っている。そういう天気ですので、早めに岐阜大学のみなさんとシドニーのみなさんとの会話にもっていきたいと思います。私の話はこれで終わりにします。ありがとうございます。(拍手)



山田の講義に続いて、シドニー大学から準備されたシートにしたがって、他動詞の受身形と自動詞の違いを、日本人学生(N)と、シドニー大学の学生(S)とで考える時間をもった。

【質問】3

S1: 「a, 犯人が捕まえられた。」と「b, 犯人が捕まった。」の違いはどうか？

山田: じゃあ、ちょっと聞いてみたいと思います。分かる人いますか？ 間違ってもいいです。

N1: 「捕まえられた」だと、警察官などに捕まえられたというイメージですが、「捕まった」だと、自首、自首をして自分から捕まえられに行ったというイメージもあります。

山田: 素晴らしいですね。はい。で、じゃあ、こう、もう少しこういう言葉を挿むと、なんか違いが分かるということはないですか？

N2: 「犯人が警察によって捕まえられた」という言い方はしますけど、「犯人が警察によって捕まった」という言い方は、少し不自然な感じがします。

山田: シドニーのみなさん、分かりましたか？ 少し繰り返しますと、「犯人が捕まえられた」は、警察官が言うような感じがする。「捕まった」は、その犯人が自分から警察に行き行って捕まった感じがする。で、2番目の学生は、それが警察によって捕まえられた。「警察によって」、「警察によって」という言葉といっしょに使えるのはaだけです。bは、「警察によって捕まった」は変じゃないですかと言ってくれました。どうですか、シドニーのみなさん？

岩下: はい、ありがとうございます。bは、「警察によって」といっしょに使うと変。aは、「警察によって捕まえられた」は大丈夫です。はい、とてもいいサジェスションだと思います。

【質問】6

S2: 「テーマが決められた」「テーマが決まった」

山田: はい、どう違いますか？

N3: 「テーマが決められた」というのは、自分が決めるのに参加していない。勝手に決められてしまったという感じがするのですが、「テーマが決まった」だと、みんなも一緒に自分も参加して決めたというふうにとれます。

山田: えー、他の人が決められたか、自分も決めるのに参加したか。aは他の人が決めて、ちょっと困ったなあ~という意味があるんですか？ そこまではないかもしれないけど、それもあつた時はあつた。でも、2番、bの「テーマが決まった」これは、自分も参加していたからそうになりました。困ってはいませんということですね。はい、6番は、こんな具合でどうですか？

岩下: はい、ありがとうございます。

【質問】7

S3: 「電線が切られた」「電線が切れた」

山田: 今日は男の子もたくさんいます。3人男の子がいます。

N 4 : えっと、「電線が切られた」のほうだと、誰かによって、自然と切れたのではなくて、誰かによって切られたというような感じがあって、「電線が切れた」だと、自然に、今だと「台風の風とかで切れました」という状況を伝えるような使い方をするとと思います。

山田 : だいたいこれでいいですか？ はい、そうですね。aの「切られた」は、誰かがいます。切った人がいます。

犯人がいます。でも、bは「切れた」ですから自然にそうなりましたということですね。はい、いいですか？

岩下 : はい、ありがとうございます。

【質問】 8

S 4 : 「子どもが見つげられた」「子どもが見つかった」

N 5 : 「子どもが見つげられた」のほうが、えーっと、見つげられたくないんだけど見つげられたという迷惑な感じがして、「見つかった」のほうが、あまり迷惑な感じはしないと思います。

山田 : そのほかありますか？ 「られる」には、迷惑の意味がありそうだという答えですね。はい、もう一人あります。

N 6 : えっと、迷惑という意味もあると思うのですが、「見つげられた」だと、ずっと探していて、迷子だった子が発見されたという意味でも使うことがあると思います。「見つかった」も使います。両方です。

N 7 : 「見つかった」だと、子どもが自分から出てきて発見という意味もあると思います。「見つげられた」は、自分じゃない他人によって見つげられたという意味があると思います。

山田 : bの「見つかった」は、自然にそうだった。出てきたんだという意味ですが、aの「見つげられた」は、そうでなくて誰かが探したその結果であろうということでしょうか。はい、いいですか？

岩下 : はい、ありがとうございます。

【質問】 10

S 5 : 「部屋が暖められた」「部屋が暖まった」

山田 : はい、大丈夫です。言っていない人に。

N 8 : 「暖められた」のほうは、暖めた人がいるという感じで、「部屋が暖まった」のほうは、なにか、その、暖房とかをつけておいて、気温が上がって暖まったって感じだと思います。

山田 : はい。あのー、誰々によってというのが、あるかないかということにもなるでしょうね。「田中君によって暖められた」ということはできますが、「田中によって暖まった」は駄目ですね。はい、ですからaのほうは暖めた人がいます。「部屋が田中君によって暖められた」「よって」を使うと、暖めた人を表すことができますが、bのほうは「暖まった」これは自然に暖まったということですね。いいですか？

岩下 : はい、ありがとうございます。質問に移りたいと思います。

山田 : 自由に質問してください。

S 6 : 私は、教育を勉強しているのですが、先生はどうして先生になったのですか？

山田 : これは、私が答えますか？ はい、私が答えますか？ はい、えー、私は、あのー、大学ではイタリア語とかスイスのレトロロマンス語という言葉勉強しました。大学の3年生と4年生の時に、イタリア語とレトロロマンス語というスイスの言葉を勉強しました。でも、日本では就職がありません。だから、イタリアに日本語を教えに行きました。私の最初の仕事は、イタリアで日本語を教えることでした。それで、日本語がよく分からないなあ、私は日本人なのに日本語がよく分かりませんということが分かりました。それから、日本語の文法を勉強するようになって、一生懸命勉強して、今、大学で教えています。いいですか？ はい、ありがとうございます。次の質問どうぞ。

S 7 : 岐阜大学にオーストラリアからの留学生は多いですか？ これらの留学生が、カルチャーショックを受けたことがあるかご存知ですか？

N 9 : 以前、異文化交流という授業で、シドニー工科大学の学生さんと話をしたことがあります。カルチャーショックについて話はしなかったんですけど、私が話をしている限り、文化の違いがあるなどは思いました。

山田：聞えましたか？ 聞えませんか、大丈夫ですか？ はい、シドニー工科大学、シドニー大学の近くにありますね。UTS ね。そこの学生が、岐阜大学に来ています。で、話、いま香田さんです。この女子学生は、香田さんです。香田さんは、UTS の学生と話をしました。ちょっと違いがあると思いましたが、でも、ショックではない。ショックではないそうです。また、オーストラリアから来てください、ねっ。シドニーから来てください。そして、ショックを受けたら教えてください。

岩下：そちらから、質問はありませんか？

山田：はい、是非。

N10：えっと、日本人のことを考えたときに、日本人を動物に例えるとしたら、どんな動物に例えますか？

S：(笑い)

岩下：誰か、日本人を動物に例えたらどうでしょうか？

S8：タヌキ。

山田：タヌキ。はい。ありがとうございます。シドニー大学には、少しタヌキに似た日本人がいますか？

岩下：(笑い)私ですか、それは。

山田：そうですか、岩下先生がタヌキでしたか。はい、私は何に見えますか？

岩生：山田先生は何の動物に見えますか？

S9：面白いサル。

山田：はい、分かりました。どうもありがとうございます。はい、まあ面白いというのはうれしいですね。はい、ありがとうございます。他にある？

N11：そちらにいる日本人の学生から見て、シドニー大学はどうですか？

S10：キャンパスが広いです。(笑い)

山田：他には？

S10：建物がきれいです。

山田：食べ物はどうですか？

S10：おいしくないです。

山田：おいしくない。はい、ありがとうございます。(笑い) そんなことはないでしょう。はい、シドニー大学が広いことは知っています。シドニー大学で迷子になったことがあります。だから知っています。

S11：イラク戦争に対してどう思いますか？ オーストラリアは軍隊を出していますが、それについてどう思いますか？

N12：戦争には反対です。難しいことはよく分からないので、これから勉強します。

N13：僕も、基本的には戦争に反対です。ブッシュ政権下で、あのー、イラクに大量破壊兵器があるという報道がなされたんですけど、一時期、それが結局見つからなかったってことで、そのイラクの戦争に意味がなかったと思うので、基本的に僕は戦争には反対だし、日本がイラクで軍事活動ではない、イラクの人を助ける、生活を助けることはいいと思うんですけど、ただアメリカ軍に協力して戦争を起こすの、手伝いをするのだけはやめてほしいと思っています。

山田：これでいいですか？

岩下：はい。素晴らしい答えありがとうございます。

N12：なんでクラスはほとんど女性なんですか？

山田：僕から答えましょうか。あのー、そうでもないですが、今、この、ここに来てくれているのは国語、日本語を勉強している日本人の学生と英語を教えることを勉強している英語の学生なんですね。で、日本で言葉を教える先生になる人は、女の人の方がどうしても多いです。どうして？ と言われても困りますが、多いです。はい、女の人の方が頭がいいからかもしれません。

N学生：(笑い)

S学生：シドニー大学に対してどんな印象を持っていますか？

山田：シドニー大学に行ったことがある人はいますか？ シドニー大学についてよく知っている人はいますか？ あっ、いました。

江馬：シドニー大学は素晴らしいところです。私，4回行かしていただきました。あの一，ひょっとしたら岩下さんよりよく知っているかもしれません。

山田：今，話してくれたのは，こちらの大学の先生，技術の先生，江馬先生です。一番シドニー大学にはよく行っていますので，一番よくご存知と思って質問してみました。僕は，一回だけ行きました。はい，広い大学だと思います。

ちょっと外を見てください。外は，雨が強く降っています。もう帰ることができないかもしれません。(笑い)台風がもうすぐそこまで来ています。僕たちは，もう逃げなければなりませんので，もう終わってもいいですか？

岩下：はい，大丈夫です。お気をつけて。

山田：はい，それでは，またいつか。さようなら。(笑い)

5．授業評価

いずれの回についても，次の3つの点についてシドニー大学の学生にアンケート調査を行った。

回答者の属性（年齢，性別，日本語学習歴）

授業に関する一般的な評価

内容理解テスト

アンケートはシドニー大学側の岩下によって，印刷・回収・岐阜大学への送付がすべて円滑に行われた。

アンケート結果の分析の詳細については，別稿（今井亜湖ほか：投稿中）にゆずることとし，ここでは授業の内容に関する点について，アンケート結果から簡単に触れておく。

まず，授業担当者の話し方に対する評価は総じて非常に高いものであった。説明の仕方や話し方についてはいずれの回も3.8点（4点満点 以下同じ），スピードについては3.9点であった。昨年度の授業ではティーチャートークに徹し分かりやすい授業を心がけたが，反面，自然さを欠く授業となってしまった反省から，ことばのスピードを上げたが，適切なレベルであったことが立証された。

パワーポイントによる資料は，1回目と2回目では工夫した点が異なり，これが評価の差となって現れた。1回目は，第2節に示したように，大半が日本語だけであり，表はあるものの動画や写真はなかった。結果，パワーポイントの資料が理解の助けになったかという問いに対しては3.5点にとどまった。一方，2回目は取り上げたテーマからの要請でもあったが，イメージとして掴みやすいよう，松原作成による Quick Time の動画と，デジカメによる動画をふんだんに入れ，また写真とも対照する形でイメージ化しやすいように工夫した。結果，同じ質問に対して3.8点という評価が得られた。

反面，岐阜大学とシドニー大学の学生間のやりとりについては課題も残った。まず，画面は十分な大きさがあるとはいえ，双方の顔が明確にわかるほどは解像度の点でも至っておらず，face-to-face で話しているという実感は得られなかったようである。このことは評価にも如実に表れており，講師とシドニー大学の学生とのコミュニケーションが取れていたかという問いについては，1回目が3.4点，2回目が3.6点と，いずれもそれほど悪くはないにしても，相対的に低い点数となった。

その中で，シドニー大学の学生に課題として課されていた日本語に関する疑問を，シドニー大学の学生が直接，岐阜大学の学生に問い掛けるという形式を取り，答えてもらった点は，次へとつながる展開であったように感じられた。

6．シドニー大学からの評価・感想

6.1 はじめに

シドニー大学日本研究科が岐阜大学とのテレビ会議システムを用いたプロジェクトに参加し，日本語学演習（Readings in Japanese Linguistics）のコースの一部として取り入れたのは今回が2回目であった。シドニー大学がこのプロジェクトに参加した主な目的は，テレビ会議システムなどの新しいテクノロジーを授業の一部として取り入れることで，授業の内容，形態に変化を持たせ，学生の日本語学習意欲を高めることと，日本国外の日本語学習者に不足しがちなネイティブ・スピーカーとの接触の機会を増やすことであった。

6.2 プロジェクトの準備

昨年度の反省、受講者からのフィードバックの内容をふまえ、今回は、岐阜大学の授業者山田との連絡を密にし、岐阜大学からの講義が、この日本語学演習のコースの内容、受講する学生のレベルに適したものとなるよう、細心の注意を払った。しかし、このコースを受講する学生の日本語のレベルは、5段階²⁾に別れているので、講義のスピードのレベルを一番下の「2年生で日本留学経験のない者」に合わせることで合意した。

また、これも昨年度のフィードバックにあったことだが、今回は、シドニー大学と岐阜大学の学生同士が交流できる時間をできるだけ盛り込むということでも意見が一致した。

6.3 プロジェクトの成果と今後の課題

シドニー大学がこのプロジェクトに参加するのは今年が2回目であったが、今回は全てにおいてかなりスムーズに進んだと思う。ただし、シドニー大学側の担当が本年度の半ばに急遽岩下に変更になったことで、テレビ会議の部屋の確保など、かなり慌てた点もあった。しかし全体として、今回は昨年度の実省材料を元に、岐阜大学側の授業者山田とかなり前もって連絡・準備ができたため、講義の内容、レベル等、この日本語学演習のコースの一部にしっかり組み込まれたものとなった。学生の反応も大変良く、みんな熱心に講義に聞き入っていた。テレビ会議ということで、最初は緊張していたものもいたようだが、授業者のユーモアをふまえた分かりやすい説明にすぐに引き込まれていたようである。

今回は、授業者からの講義の後に、学生同士の質問交換の時間を設けたわけだが、これもかなり人気が高く、やはり日本語のネイティブスピーカーと直接やり取りができるということがテレビ会議の一つの醍醐味と言えるだろう。しかし、本年度のフィードバックにも、また、学生同士の交流の時間がもっとほしかったというのがあった。講義の後、時間的にもかなり余裕があったので、学生同士の交流をさらに時間、方法、共に充実させることが、今後の課題の一つとして挙げられるだろう。

先に述べたように、シドニー大学の今回のプロジェクトへの参加の目的は学生の日本語学習意欲を向上させ、ネイティブ・スピーカーとの接触の機会を増やすことであった。この両方の点に関して、今回のプロジェクトは十分な効果があったと言えるだろう。次回はまた、今回のプロジェクトの実省材料、フィードバックを元に、より良いプロジェクトができるよう努力していきたいと思う。

7. おわりに

最後に今後の課題となりそうなことをいくつか挙げておきたい。

授業の内容については、学期当初にどのような展開の中のどのような位置にはめ込まれる授業であるか明確に示されたことで、授業準備が格段にやすくなった。一方で、学生の興味関心による変更もシドニー大学側からの提案としてあり、岐阜大学側での準備の点で慌てたのも事実であった。

学生に合わせた臨機応変な授業と、特別なモジュール授業にける準備の苦労とのバランスが課題として残った。

上記の件とも関わるが、どれだけの準備をかけるかという点も前年度に引き続いて課題として残った。特別な「作り込んだ授業」は授業者にとって負担が大きい。今回はパワーポイントに動画やアニメを埋め込んだため、かなりの負担となった。これは講義のテーマとも大きく関係するが、より分かりやすい授業を模索すればするほど準備のための負担が増えていく。特にパワーポイントで動画を動かすためには、大容量のパソコンでの準備が不可欠であることも痛感した(この点については、教育改善経費によって後に改善された)。

また、パワーポイントファイルは、互換性が十分に確保されておらず、Office2004(Mac版)によって作成されたファイルは、他のバージョンではタブがずれるなど、表示が必ずしも上手くいかないこと、また、動画などのリンクをすべて張り直さなければならないことなどが新たにわかった。

今回、シドニー大学の岩下講師とのやりとりのほとんどはメールで行われたが、時差がほとんどないなどの理由で、一日に十分な回数のやりとりが繰り返され、問題の解決が非常に迅速であった点もうまくいった要因の一つとなったことは特記に値する。今さら言うまでもないことであるが、遠隔授業においては十分な打ち合わせと授業準備が不可欠である。

【参考文献】

今井亜湖・江馬 諭・加藤直樹・小林一貴・西澤康夫・松原正也・山田敏弘・大和隆介・H.クラーク・岩下真実(投稿中)「モジュール交換方式を用いた国際遠隔授業の評価」
岐阜大学国際遠隔教育研究プロジェクト(編)2004『ストリーミング配信技術を用いた遠隔授業に関する研究』産官学連携共同研究成果報告書

【注】

- 1) 平成15年度の授業内容については、岐阜大学国際遠隔教育研究プロジェクト(編)2004に詳しく記したので、そちらを参考にされたい。
- 2) (1) 2年生で日本留学経験のない者 (2) 2年生で1年以上の日本留学経験のあるもの (3) 3年生で日本留学経験のない者 (4) 3年生で1年以上の日本留学経験のあるもの、(5) 日本語のネイティブスピーカー